

# 宮城野

MIYAGINO

## 当社の防災関連トピックスについて

JFE スチール株式会社棒線事業部仙台製造所 総務部長 廣瀬 航

JFE スチールは、「常に世界最高の技術をもって社会に貢献します」という企業理念のもと、独自性や機能性の高い「鉄」を製造し、社会に提供しています。国内製造拠点は北から仙台製造所、東日本製鉄所（千葉、京浜）、知多製造所、西日本製鉄所（倉敷、福山）の計6拠点あります。そのうち、仙台製造所は自動車部品や建設機械・産業機械部品等の特殊鋼を中心とした鉄鋼製品を生産しています。

鉄鋼製品の生産現場では、高温溶融物（溶けた鉄）や重量物、多くの危険物を扱うという特徴があります。そのため、防災管理は全社の最重要事項と位置付け、全社共通の取り組みとして6拠点合同で実際の災害を想定した防災訓練を定期的実施しています。また、仙台製造所独自の活動として、過去に発生した災害事例を紹介・再検証を行う「防災リメンバー活動」を毎月開催し、防災意識の啓発に努めております。

弊社からは至近のトピックスとして2点お話しさせていただきます。1点目は救急救命講習の実施についてです。鉄鋼製品の生産現場では、先ほども申し上げました通り多くの危険を伴っており、ひとたび災害が発生すると人体に重篤な影響を及ぼす事態になりかねません。災害を未然に防ぐことはもちろんですが、不幸にして災害が発生した後の対策も講じておくことが重要との考えのもと救急救命講習の実施に力を入れています。2022年に第一回目を宮城野消防署様ご協力のもと開催し、26名が受講

いたしました。その後も受講者の拡大を計画し、2023年度以降は社内の安全防災管理部門による専門講師養成も行うことで受講機会を増やし、2025年度9月までに所内での延べ受講者数を約300名まで拡大させてまいりました。受講者アンケートでは「想像以上に難しかった」「訓練が無ければ実際に対処できる自信がない」等の意見が多数寄せられており、こうしたアンケート結果からも日頃からの訓練の重要性を強く認識しているところです。今後は未受講者の受講推進に加え、既受講者の定期的な再受講も計画的に進めてまいります。

2点目は昨年7月30日に発生いたしました津波警報発令への対応です。弊社では東日本大震災での被災経験も踏まえて社内で整備していたマニュアルに従い、製造所内での避難を実施いたしました。避難そのものはマニュアルに沿って実施できたものの、マニュアルの基本部分は作成から約10年が経過していたこともあり、実態と乖離している部分やマニュアル通りの対応が困難な事象も発生いたしました。マニュアルは一度整備すればいいのではなく、定期的な訓練等を通して課題を洗い出し、常にアップデートすることの重要性を痛感した次第です。災害対応はその時代や会社の状況に合わせて常に変化させていかななくてはならないものであることを改めて認識させられました。

弊社では、こうした訓練を定例化し、また訓練を重ねることを通じて、更なる防災対応レベル向上を図ってまいります。



消防署指導の救急救命講習の様子



社内・救急救命講習の様子